おしゃまんべ 議会だより

２０２６年
令和８年11月
No.２２９

ご当地グルメが大集合！

食のイベント「グルメワンダーパーク函館」が９月26日、27日の両日、はこだてグリーンプラザなどを会場に開催されました。長万部町も湾宝やホタテ毛がに焼売の販売ブースを出店し、地域のグルメと魅力を楽しむ大勢の来場者で賑わいました。

第３回定例会のあらまし …… 2
町政を問う！２人の議員が一般質問 … 3
令和７年度各会計決算を認定 …… 7
委員会活動 …… 9
議会のうごき …… 10

発行／北海道長万部町議会　編集／議会広報編集特別委員会

令和８年

第３回 定例会

令和８年第３回定例会は、９月10日から18日までの９日間の会期で開かれました。

【９月10日】

木幡町長から定例会開会にあたり挨拶が行われた後、条例の一部改正や補正予算等の審議をしました。

令和７年度決算は、議長及び議選監査委員を除く７名の委員で構成する決算審査特別委員会へ付託しました。

【９月15日】

一般質問に２人の議員が登壇し、町政に対しての所見を伺いました。

【９月18日】

決算認定の採決を行い、意見書案１件などを可決しました。

慎重に審議した結果、本定例会に提案された議案すべてを原案のとおり可決し、閉会しました。

補正予算

○令和８年度一般会計補正予算（第４・５号）
○令和８年度介護保険特別会計補正予算（第３号）
○令和８年度土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）
○令和８年度病院事業会計補正予算（第２号）

条例

○長万部町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

任命

○職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正
○長万部町副町長の選任
○長万部町教育委員会委員の任命

報告

○令和８年度に公表する健全化判断比率及び資金不足比率の報告
○放棄した債権の報告

その他

○議員派遣承認
○所管事務調査及び閉会中の継続調査

※詳しい議案の内容は、10月号町広報に掲載されております。

意見書を提出しました

意見書１件を原案どおり可決し、関係機関へ送付しました。

◇国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点について、所見を伺うことです。

高橋　克英　議員
２０２５年国勢調査の結果について……４～５

長﨑　　厚　議員
感震ブレーカーの普及促進について
……５～６

議会の会議録はホームページでご覧になれます

長万部町ホームページトップ → 町議会 → 会議録 からお入りください。

長万部町役場ホームページ

http://www.town.oshamambe.lg.jp

― 高橋　克英　議員 ―

２０２５年国勢調査の結果について

（町長）今後のまちづくりを検討する上で十分に活用する

高橋　国勢調査は、国の基幹統計として５年に一度行われる極めて重要な調査である。その調査結果は、都市計画や防災対策、少子高齢化対策など、いろいろな政策を策定するための資料となり、民間企業でも、製品やサービスの需要予測や店舗等の立地計画など、幅広く活用される貴重な資料となる。

そこで、次の点について伺う。

①２０２５年国勢調査結果に基づく人口についての町による分析、将来展望について。

②今後の地方交付税算定の見通しについて。

③本町の計画における根幹・基本となる「まちづくり総合計画」などに対する影響について。

以上、町長の所見を伺う。

町長　１点目の将来展望については、産業別や移動人口の就業状態等、詳細な分析集計値が確定するのは来年の春以降であるが、現在までに公表されている長万部町の速報値は、５，３１０人となっている。

この数値は、前回の調査結果より約２００人の増であり、新幹線工事関係者や、前回調査時にコロナ渦で休止していた東京理科大学の学生が大きな要因と分析している。

しかしながら新幹線工事関係者については、定住人口ではないため、今後の各種工事の進捗状況に左右されるものの、長期的な将来展望としては、人口減少が進むと予想している。

２点目の今後の地方交付税の見通しについては、普通交付税の算定は人口を主要な測定単位の一つとして用いている。

このため、今回の国勢調査で当町の人口が増加したことは、地方交付税を増加させる要因の一つになるものと考えている。今後の交付額については、国勢調査人口以外にも、国の地方財政対策などが影響することから、現時点で具体的な見通しを申し上げることは難しいと考えている。

３点目のまちづくり総合計画などに対する影響だが、現在の第４次長万部町まちづくり総合計画について、社会情勢等の変化を一部反映させ、令和８年度から令和12年度までの後期計画として、本年３月に改訂したところである。

国勢調査は、重要な基幹統計であり、今後のまちづくりを検討する上で十分に活用していく必要があるが、今回の人口増加が新幹線工事関係者等の一時的な流入によるものであるとすれば、総合計画をはじめとする各種計画や施策を直ちに変更することは適切ではないと考えている。

一方で、全国的な少子高齢化により、当町も将来的に人口減少は避けられない状況であると認識しており、今後の人口動向を見極め行政需要に与える影響を検証していく。

高橋　国勢調査は住民票がなくても算定されるのか。また、住民票がなくても算定される場合、どのような要件なのか。

まちづくり推進課長　国勢調査は住民票の有無に関わらず、基準日の10月１日現在で既に３か月以上住んでいる方、または３か月以上住む予定の方については、住民票が町外にあっても実際に居住している市町村の人口として算定されることになっており、新幹線工事関係者や理科大生が住民票を町外に置いたまま長万部町に３か月以上居住している場合には、国勢調査上は当町の人口として算定される。

高橋　北海道新幹線工事関係者による一時的な人口増であり、将来的には人口減少が進むとの認識だが、今後の具体的な対策などは考えているのか。

まちづくり推進課長　後期のまちづくり総合計画の主要施策と連動する第三期長万部創生総合戦略を本年３月に策定した。その中で地方創生の取組

や人口減少等への主な対応として、移住希望者向けのお試し移住事業や、地域おこし協力隊制度を活用した定住化の促進、東京理科大学との連携など、人口減少の緩和、関係人口の創出・拡大、これをめざすべく各種施策に取り組んでいるところである。

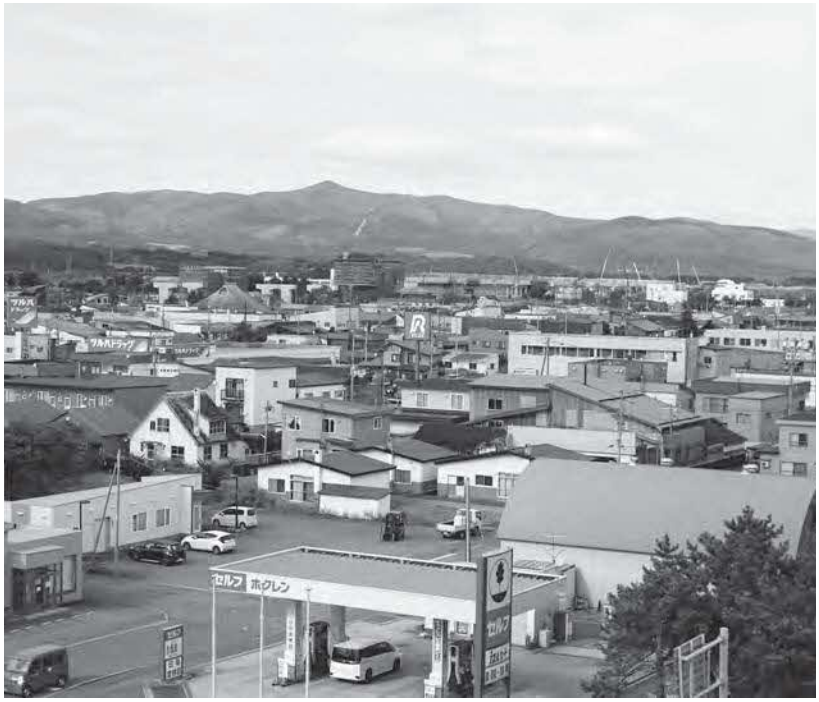
高橋　全国どこの市町村も人口の減少は大きな問題となっている。わが町は北海道新幹線長万部駅開業に向け準備を進めており、いろいろな面で千載一遇のチャンスと考えるが、これを生かした人口の増、まちづくりをどう考えているのか。

町長　町の将来展望を見据えた場合、新幹線開業までに行う事業、そして新幹線開業後に行う事業の２つを考えていかなければ、長万部の発展は見えてこない。

特に、開業後の新幹線貨物ターミナル構想については、国にも要望を届けているが、先日発生した静狩・豊浦間の土砂災害では、８月27日から９月10日までの間、貨物列車も止まり、物流が滞った。それは在来線だけで解決できる問題ではなく、新幹線貨物が北海道の物流を支えるもうひとつの大きなツールにならなければ駄目だと考えている。

長万部町に貨物の物流拠点を作ることにより、企業や定住人口が増えていく可能性は十分にある。

新幹線の開業は残念ながら２０３０年には叶わないが、想定される２０３８年までの国勢調査で、工事関係者などを含め、今回の人数よりさらに上乗せできれば、今後のまちづくりにも大きく繋げていくことができると考えている。



長万部町の町並み

― 長﨑　厚　議員 ―

感震ブレーカーの普及促進について

（町長）広報紙などを活用した周知・啓発を検討する

長﨑　これまでも大きな災害が幾度となく発生してきた。近年も大規模な地震が多発しており、様々な二次災害が発生し、より大きな被害をもたらしている。その二次災害のなかでも、通電火災による被害が多発していると聞いている。

その通電火災の被害を減らし防ぐためには、感震ブレーカーを設置し、発災時に家屋等への通電を止めることが重要と考える。

「災害に強いまちづくり」をいっそう推進していくため、感震ブレーカーの存在と効果を町民に周知・啓発する場が必要と考える。

また、高齢者世帯、障がい者のいる世帯、乳幼児のいる子育て世帯に対しては、優先して設置すべきと考える。

住民一人ひとりが生涯を安心して、健やかに暮らせる「まち」の実現をめざすとの観点から町長の所見を伺う。

町長　感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して電気を自動的に遮断することで、地震後の通電火災を防止するための有効な対策のひとつであると認識している。

　大規模な地震が発生した場合には、建物の倒壊や家具の転倒などによる直接的な被害に加え、地震により破損した電気配線や電気機器などから出火する通電火災、さらには、木造密集地域等における延焼火災などの二次災害も想定されることから、これらの被害を防止することが重要であると考える。

　このため、町民の皆様に感震ブレーカーの仕組みや効果を知っていただき、地震への備えのひとつとして活用していただくことは、防災意識の向上を図る上でも重要であると認識している。

　町としては、町広報紙やホームページ、防災出前講座などの機会を活用した、感震ブレーカーの有効性や設置についての周知・啓発について、今後検討したいと考えている。

　また、高齢者世帯や障がいのある方がいる世帯、乳幼児のいる世帯など、災害時において特に配慮を必要とする世帯への設置についても、重要な視点であると認識している。

　今後、地震・火災対策に関する他自治体の取組なども参考にしながら、感震ブレーカーの普及促進について検討し、引き続き災害に強いまちづくりに取り組んでまいりたい。

長﨑　感震ブレーカーについては、町広報紙などで周知・啓発を進めるとの答弁だが、あわせて町として、購入・設置に対する補助制度を設ける考えはないのか。

町長　感震ブレーカーについては、防災装置としてまだ馴染みが薄く、全国の自治体でも補助事業を行っているところは多くはない。

　そのため、まずは感震ブレーカーの有用性を、防災出前講座などを通じて町民の皆様に周知徹底していく必要があると考えている。

　一般的に感震ブレーカーは、震度５以上でなければ作動しない仕組みになっており、価格は高いもので大体８万円くらい、安いものなら５，０００円くらいである。

　町では過去に火災報知器を配付・設置したことがあるが、その後、各家庭が負担し更新している所は多くはなく、消防本部でも広報誌などで啓蒙活動をしているが、なかなか進んでいないのが現状である。

　感震ブレーカーの普及については、まず自分の財産は自分で守るという考えを基本とした上で、今後、国の補助制度が整備されるような状況になれば、地方自治体としても財源の手当がしやすくなるが、現在はまだその段階まで至っていないと考えている。

　まずは、町民の皆さんに感震ブレーカーのシステムを知っていただくことから進めていきたい。

感震ブレーカー

　議場へ足を運ばなくても、自宅や外出先でも本会議を傍聴できるよう、インターネット（You Tube）にて中継を実施しています。
チャンネル登録をしていただくようお願いいたします。

PC、スマホ、ダブレット等から議会の映像がご覧いただけます

YouTubeで　長万部町議会　を検索してください

令和７年度各会計決算を認定

９月10日開会の第３回定例会において、令和７年度長万部町一般会計、各特別会計及び各企業会計の決算を審査をするため、議長と議会選出の監査委員を除く７名で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

休会中に審査した結果を９月18日の町議会定例会最終日に報告し、認定しました。

◎決算審査特別委員会　委員長　高森　功治
副委員長　北川　佳嗣

◆ 令和７年度一般・特別・企業会計決算状況 ◆

会計名		歳入	歳出	差引額
一般会計		71億7,231万1千円	69億8,133万2千円	1億9,097万9千円
特別会計	後期高齢者医療	1億2,384万9千円	1億1,887万1千円	497万8千円
	国民健康保険	6億2,665万7千円	5億8,863万2千円	3,802万4千円
	介護保険	8億7,399万1千円	8億1,542万5千円	5,856万6千円
	土地区画整理事業	3,328万9千円	3,272万8千円	56万円
企業会計	ガス事業	収益的収入総額 1億794万7千円 資本的収入総額 7,629万円	収益的支出総額 1億1,832万6千円 資本的支出総額 1億420万1千円	
	水道事業	収益的収入総額 2億1,688万円 資本的収入総額 26万5千円	収益的支出総額 2億3,317万7千円 資本的支出総額 2,326万2千円	
	公共下水道事業	収益的収入総額 3億6,814万4千円 資本的収入総額 4億4,624万4千円	収益的支出総額 4億2,786万4千円 資本的支出総額 5億732万9千円	
	病院事業	収益的収入総額 6億8,444万円 資本的収入総額 1,220万8千円	収益的支出総額 7億3,936万7千円 資本的支出総額 2,512万4千円	

歳入、歳出差引額の不符合は、端数処理により生じたものである。

議会議員研修会

１０月８日、北斗市において渡島・檜山管内市町議会議員研修会が開催されました。

第一講演は「ヒグマ対策について」と題し、北海道環境生活部自然環境局野生動物対策担当局長の井戸井毅氏より講演を受けました。

第二講演は「縮小社会における議会・議員の役割～「住民自治の根幹」としての議会を作動させる～」と題し、大正大学地域創生部公共政策学科教授の江藤俊昭氏より講演を受けました。

北海道町村議会議長会表彰

永年勤続議員として、大谷敏弥議員が北海道町村議会議長会より表彰されました。

○15年以上在職　　大谷　敏弥 議員

● 議員の出席簿 ●

令和8年7月～令和8年9月

会議名	開催日	橋本	辻	大谷	北川	高森	長﨑	高橋	村川	柏倉
第3回臨時会	8月7日	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第3回定例会	9月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月18日	×	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	8月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月18日	×	○	○	○	○	○	○	○	○
総務常任委員会	8月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業建設常任委員会	9月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会	8月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
まちづくり・新幹線調査特別委員会	8月7日	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議会広報編集特別委員会	7月16日	○	○	－	－	○	－	－	○	－
	9月15日	○	○	－	－	○	－	－	○	－

○（出席）　×（欠席）　－（出席対象外）

所管事務調査（委員会が受け持つ調査内容）

第4回定例会（12月）までの各常任委員会、議会運営委員会の所管事務等調査事項は、次のとおりです。

《総務常任委員会》
・国保事業運営状況　・町税収納対策　・防災事業
・病院事業　・社会教育施設事業

《産業建設常任委員会》
・除雪事業

《議会運営委員会》
・議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

委員会活動

産業建設常任委員会

９月１日

①土木事業（現地調査）
丸山橋修繕工事について調査

②有害鳥獣対策
有害鳥獣捕獲頭数、ヒグマの目撃情報と対応、緊急銃猟制度、猟友会に向けた支援内容について調査

③所管事務調査
第４回定例会までの所管事務調査を協議

まちづくり・新幹線調査特別委員会

８月７日

①まちづくり・新幹線等に関する調査（現地調査）
新幹線関連会議等開催状況、中ノ沢高架橋工区、平里高架橋工区、長万部駅高架橋工区について調査

議会広報編集特別委員会

７月16日
①議会だより第228号の編集
９月15日
①議会だより第229号の編集

総務常任委員会

６月19日

①環境衛生事業（現地調査）
クリーンおしま火災に伴う対応状況について調査

８月26日

①財産管理（現地調査）
廃校施設の利用状況について調査

９月７日

①子ども子育て支援事業
長万部町こども家庭センターの設置について調査

②所管事務調査
第４回定例会までの所管事務調査を協議

議会運営委員会

８月４日
①第３回臨時会の運営、議員派遣、議会改革について協議
９月７日
①第３回定例会の会期及び日程、提出される議案などの取扱い、第４回定例会までの所管事務調査、議会改革について協議
９月10日
①第３回定例会の運営について協議
９月15日
①第３回定例会の運営について協議

発行／長万部町議会
編集／長万部町議会広報編集特別委員会
住所／〒049-3592 北海道山越郡長万部町字長万部453－1
TEL（01377）2－2173

議会のうごき

7月

2日	北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）	全議員
3日	長万部町議会議員研修会（泊村）	全議員
24日	議会用務	議　長
28日	道南地区森林･林業･林産業活性化議員連盟研修会（厚沢部町）	各議員
30日	北海道新幹線建設促進長万部町期成会総会	議　長

8月

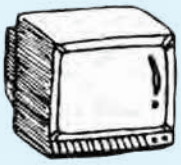
7日	第3回臨時会	各議員
27日	渡島檜山議長連絡会議（乙部町）	議　長

9月

1日	議員協議会	各議員
6日	北海道豊かな海づくり大会（北斗市）	議　長
10日	第3回定例会	全議員
15日	第3回定例会	全議員
18日	第3回定例会	各議員

議場のテレビ放映

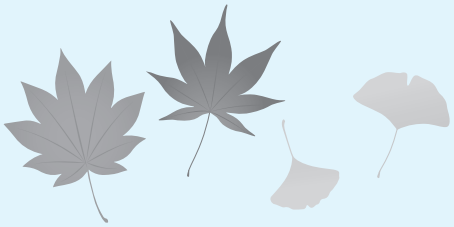
役場１階ロビーで定例会、臨時会の模様を放映しています。



議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月です

傍聴には特別な手続きの必要はありませんので、お気軽にどうぞ。



ちきゅうにやさしい

この広報紙は再生紙を使っています。

お願い

議長宛ての案内などの文書は、議会事務局へ送付ください。

まど

第３回定例会（決算議会）も終わり、町では新年度予算の編成に向けた取り組みが進められています。決算審査では、これまで町が行ってきた事業について、その成果や課題、今後の財政運営について確認し議論を行いました。

現在、社会情勢の変化により、賃金や資材価格、物価などの高騰が続いています。また、新幹線事業負担金についても大幅な増額が見込まれるなど、町の財政運営を取り巻く環境は、これまで以上に厳しくなることが予想されます。議会としても、町民の皆様から寄せられる声を大切にしながら、限られた財源をどのように活用していくべきかをしっかりと議論してまいりますとともに、町の将来を見据え、将来世代に過度な負担を残すことのない持続可能な町政運営を目指し、より良いまちづくりにつながる提言と議論を進めていきます。

議会広報編集特別委員会
委員長　高森　功治
副委員長　辻　紀樹
委員　橋本　收司
〃　村川　毅